

**平成29年度  
ふるさと創生基金事業計画書  
(案)**

平成29年4月1日

長岡市栃尾地域ふるさと創生基金事業実行委員会

## 事業テーマ

もっと

大好き

とちお



## 事業目的

### ◆ 地域資源の再認識

住民自身が地域資源を再認識することで自分たちの地域に誇りを持って住み続けられるよう、また、自信を持って栃尾の魅力を発信し、積極的に来訪者を受け入れていくことができるよう住民意識を高める。

### ◆ 交流活動の活性化

地域資源を活用したイベントの実施や積極的な情報発信により、交流活動を活性化させ、交流人口の拡大を図る。

# 事業の柱

## 1 とちお魅力アップ作戦

栃尾地域の住民が地域の宝である歴史や文化、自然を再認識するきっかけとなるような事業を展開する。

さらに、栃尾の魅力に磨きをかける事業を展開し、住民が誇りを持てる地域へと栃尾の魅力を高めることを目指す。

### 【個別事業】

- 子どもの健康づくり推進事業
- 栃尾地域の中学校校歌保存事業
- 地域の宝ブラッシュアップ事業
- 婚活支援事業
- 地域と若者との交流促進事業
- 栃尾の未来育成事業



## 2 リピーター倍増作戦

地域資源を積極的に活用した地域住民が主体となって取り組む事業を展開し、栃尾の魅力をPRすることによってリピーターの増加を目指す。

### 【個別事業】

- 秋葉神社を中心とした観光事業
- 映像、イベントを通じた栃尾の魅力発信事業



## 平成 29 年度 ふるさと創生基金事業 個別計画書

<b>事業名</b>	子どもの健康づくり推進事業
<b>概 要</b>	<p>[目的] 安心して妊娠・出産・子育てができる地域づくりを目指し、子育てに関する情報不足という課題を解決する。</p> <p>[事業内容] 1. 「健康・医療・相談ガイド子育て版」の作成 医療機関や相談窓口など、子育てに関する情報をまとめたり一フレット（A4サイズ仕上げ6ページ三つ折りを予定）を作成し、子育て世帯に配付する。</p> <p>2. 子育て講演会の開催 日時＝平成 29 年 7 月 22 日（土） 会場＝栃尾市民会館 大ホール 講師＝幸島美智子氏</p>
<b>実施主体等</b>	<p>栃尾地区子どもの健康づくり推進連絡会 （事務局：長岡市栃尾支所市民生活課）</p>
<b>スケジュール</b>	<p>4 月～ 子育てガイド編集作業 7 月 子育て講演会 8 月 子育てガイド印刷 9 月 子育てガイド配布開始</p>
<b>予 算</b>	<p>講師謝金、印刷製本費ほか 470,000 円</p>

## 平成 29 年度 ふるさと創生基金事業 個別計画書

<b>事業名</b>	栃尾地域の中学校校歌保存事業
<b>概 要</b>	<p>[目的]</p> <p>校歌に内在する地域の誇りや理念などを再認識し、同窓会などの各種会合等で歌い継ぐことにより、世代を越えた地域の絆を深める。</p> <p>[事業内容]</p> <p>1. パネル展の開催</p> <p>平成 28 年度に掘り起こした閉校中学校校歌にうたわれている風景や当時の校舎の写真、思い出話、歌詞の解説などをパネルにし、栃尾地域内の公共施設等に展示する。</p> <p>2. DVDなどの作成及び貸出</p> <p>平成 28 年度に行った「とち思い出の校歌演奏会」及び上記パネル展で使用したデータを収めたDVDを作成する。また、ピアノ伴奏付きのカラオケCDも作成する。DVDなどは希望者に貸し出しを行う。</p>
<b>実施主体等</b>	栃尾地域の中学校校歌を保存する会
<b>スケジュール</b>	<p>6月 「思い出の校歌パネル展」開催チラシ配布</p> <p>8月 パネル展開催(栃尾美術館)</p> <p>10月 パネル展開催(公民館ギャラリーなど)</p> <p>11月 DVD+カラオケCD完成</p> <p>12月 完成DVDなどの貸し出し開始</p>
<b>予 算</b>	<p>助成金 400,000 円</p> <p>印刷費、記録費(DVDなど作成)ほか</p>

## 平成 29 年度 ふるさと創生基金事業 個別計画書

<b>事業名</b>	地域の宝ブラッシュアップ事業
<b>概 要</b>	<p>[目的] 石峠の山城遺構など、入東谷地域にある地域資源を観光資源としてブラッシュアップし、交流人口の拡大につなげる。</p> <p>[事業内容] 1. 石峠街道の整備 石峠街道をイベントに活用できるように、雑木を伐採するなどして整備する。29 年度は松尾側から登るルートの整備を中心に行う。</p> <p>2. 遺構勉強会の開催 石峠の歴史について、山城の研究者から学ぶ学習会を石峠城跡で開催し、石峠街道を活用したツアーなどの事業実施に向け、気運を高める。</p>
<b>実施主体等</b>	入東谷活性化プロジェクト
<b>スケジュール</b>	<p>4 月又は 6 月～ 街道整備</p> <p>9 月 遺構勉強会</p>
<b>予 算</b>	<p>助成金 400,000 円</p> <p>借上げ料、講師謝金 ほか</p>

## 平成 29 年度 ふるさと創生基金事業 個別計画書

<b>事業名</b>	婚活支援事業
<b>概 要</b>	<p>[目的] 未婚の男女に出会いと交流の場を提供することで婚姻数の増加を図り、人口減少と少子化に歯止めをかける。また、同時に栃尾の魅力を発信することで、栃尾地域への定住人口を確保する。</p> <p>[事業内容] 独身男女の出会いの場となるイベント（とちコン 2017）を開催する。地元の食と物産を積極的に提供するなど、栃尾の魅力を発信する内容とする。また、参加者がお互いをより良く知ることができるよう、地元野菜等を利用したクッキングパーティー（料理を一緒に作り、食事をする）とする。</p> <p>時期＝11 月頃を予定 会場＝長岡市栃尾産業交流センター おりなす 定員＝男女各 20 人 合計 40 人</p>
<b>実施主体等</b>	一般社団法人 栃尾青年会議所
<b>スケジュール</b>	<p>9 月 参加者募集、イベント P R 11 月 イベント開催</p>
<b>予 算</b>	<p>助成金 500,000 円 会場費、報償費（司会者）、広報費 ほか ※参加費収入あり</p>

## 平成 29 年度 ふるさと創生基金事業 個別計画書

<b>事業名</b>	地域と若者との交流促進事業
<b>概 要</b>	<p>[目的]</p> <p>栃尾高校生と地域住民との交流によって、地域の将来を担う高校生に地域への愛着を深めてもらうとともに、地域住民にも栃尾高校の地域における活動を知ってもらい、若者を巻き込んだ地域の活性化を目指す。</p> <p>[事業内容]</p> <p>「来て見て作って体験フェスティバル 2017」の開催</p> <p>栃尾高校の生徒の企画立案によって、地域住民との交流を図る出張文化祭を開催する。書道部による書道パフォーマンスや体験型模擬店などを内容とする。</p> <p style="text-align: center;">日時＝平成 29 年 8 月 10 日（木） （予定） 午後 1 時～4 時 会場＝栃尾文化センター</p>
<b>実施主体等</b>	NKS・TRC 共同事業体 新潟県立栃尾高等学校
<b>スケジュール</b>	<p>4 月 部活、委員会ごとに内容を企画</p> <p>6 月 チラシ作成、広報開始</p> <p>8 月 イベント開催</p>
<b>予 算</b>	<p>委託料 200,000 円</p> <p>原材料費、広報費 ほか</p>



## 平成 29 年度 ふるさと創生基金事業 個別計画書

<b>事業名</b>	栃尾の未来育成事業
<b>概 要</b>	<p>[目的]</p> <p>栃尾の未来を担う子どもたちを中心に誰でも楽しめるコンサートを開催し、豊かな感性を育てることを目的とする。</p> <p>中でも、夢や目標を持ち、全盲という障害がありながらシンガーソングライターとして活躍している少女の歌とピアノに触れることによって、がんばることの素晴らしさを感じてもらう。</p> <p>[事業内容]</p> <p>県内出身のアーティストによる小中学生向けのコンサートを開催する。</p> <p>時 期＝平成 29 年 8～9 月頃</p> <p>会 場＝栃尾産業交流センター てまりホール</p> <p>演奏者＝① 佐藤英里（さとうひらり） 三條市出身、全盲のシンガーソングライター</p> <p>② すいかのたね 長岡市在住のメンバー4 人で構成するグループ。 パネルシアター、歌、ピアノ、エレクトーンのアンスンブル)</p>
<b>実施主体等</b>	まちなかキャンパス長岡栃尾分校実行委員会
<b>スケジュール</b>	6 月 チラシ作成、広報開始 8～9 月頃 コンサート開催
<b>予 算</b>	助成金 350,000 円 謝金、広報費、会場使用料 ほか

## 平成 29 年度 ふるさと創生基金事業 個別計画書

<b>事業名</b>	秋葉神社を中心とした観光事業
<b>概 要</b>	<p>[目的]</p> <p>秋葉神社を中心とした明かりのイベントを天候によらず実施することができるよう、雨天対策を施して開催することにより継続事業として定着させ、さらなる交流人口の増加を図る。</p> <p>[事業内容]</p> <p>1. 「秋葉百八風鈴灯」の開催</p> <p>常安寺から秋葉神社に登る石段と、秋葉神社の境内に本物の火を使った無数の明かりを灯すイベントを開催する。参道も多数の風鈴で飾って幻想的な空間を演出し、市内外から栃尾のまちなかに人が集まるイベントとする。</p> <p>2. 「修行道 48 km」の開催</p> <p>栃尾にあるパワースポットを巡るトレッキングイベントを実施する。岩野蔵王堂を出発して栃尾地域内に点在するパワースポットを巡り、秋葉神社までもどるコースを歩く。</p>
<b>実施主体等</b>	栃尾地域活性化委員会
<b>スケジュール</b>	<p>4 月 トチオノアカリ協議会と連動し事業準備開始 学校関係含む市内外の関係者との事業計画始動 資材納入業者選定 事業開始とともに、Web 上で定期情報発信開始</p> <p>7 月 チラシ作成、広報開始</p> <p>10 月 7、8 日 イベント実施</p>
<b>予 算</b>	<p>助成金 750,000 円</p> <p>原材料費、広報費 ほか</p>

## 平成 29 年度 ふるさと創生基金事業 個別計画書

<b>事業名</b>	映像、イベントを通した栃尾の魅力発信事業
<b>概 要</b>	<p>[目的]</p> <p>体験動画で情報発信するとともに、興味を持った人が栃尾を訪れるきっかけとなるような小規模イベントを定期的で開催し、大きなイベントのときだけでなく、普段から栃尾を訪れる人を増やす。</p> <p>[事業内容]</p> <p>1. 動画を用いた情報発信</p> <p>揚げたてのあぶらげを食べる、フィッシングパークでニジマス釣りをする、など栃尾で普段からできる体験などを動画で紹介する。youtube への登録（チャンネルの取得）を行い、より多くの視聴者を得るための広報を行っていく。とちラボのウェブページなどからもアクセスできるようにし、次年度以降も継続して発信していく。</p> <p>2. 小規模イベントの定期的な開催と広報</p> <p>動画を見て栃尾に興味を持った人が栃尾を訪れるきっかけとなるようなイベントを、とちラボの拠点であるヒロチュウなどを使って定期的に（2カ月に1回程度）開催していく。また、発信力のある人をイベントに招き、イベントの様子や栃尾の魅力を発信してもらう。</p>
<b>実施主体等</b>	とちラボ
<b>スケジュール</b>	4月～ 動画制作開始、初回イベント実施 以降、イベントの企画及び実施を繰り返していく
<b>予 算</b>	<p>助成金 500,000 円</p> <p>広報費、報償費、原材料費 ほか</p> <p>※参加費収入あり</p>

## 栃尾地域ふるさと創生基金事業 個別事業実施団体概要

### ① 栃尾地区子どもの健康づくり推進連絡会

代表者	佐藤 義尚
構成員数	17人
設立時期	平成21年度
活動テーマ	栃尾地区における子育ての課題を明らかにし、解決のための有効な支援策を検討する。
団体発足の経緯と活動内容	栃尾市時代から地域住民、保育園、幼稚園、学校、医療機関等、子どもを取り巻く関係者が参集し、「栃尾市子どもの健康づくり推進協議会」として、子どもの健康づくりを進めてきた。長岡市への合併とともに協議会が廃止されたが、協議会の構成員から無償でも継続していきたいとの希望が出されたため、「栃尾地区子どもの健康づくり推進連絡会」として継続して活動している。
活動履歴	平成21年度～ 年2回の定例会を開催し、子どもの健康に関することについて、生活習慣や発達障害等、課題を決めて参加機関の取り組みについて情報交換し、それぞれの取り組みに活かしている。 平成22年度～ 発達障害を広く理解してもらうためにリーフレットを作成し、母子健診等で配布 平成28年度～ 「栃尾地区子どもの健康づくり推進事業」として子育ての課題を抽出し、解決のための事業展開について協議

### ② 栃尾地域の中学校校歌を保存する会

代表者	大崎 稔
構成員数	11人
設立時期	平成27年9月
活動テーマ	地域住民が歌い継いできた校歌を保存し、校歌に謳われている理念や地域の誇りを後世に残すとともに、地域の絆を深めるために活用していく。
団体発足の経緯と活動内容	栃尾地域の中学校が平成元年に今の2つの中学校に統合され、その後も小学校が次々と閉校になる中、長年歌い継がれてきた校歌が消えてしまうことを心配する声があがり、趣旨に賛同する有志が集まり、事業内容を検討してきた。その後、栃尾混声合唱団や栃尾文化協会など、事業化に必要なメンバーを集めたプロジェクトチームを立ち上げ、校歌の掘り起こしと保存のための具体的な事業内容の検討を進めてきた。

活動履歴	平成 27 年 6 月 旧栃尾市の閉校になった中学校の校歌を掘り起こし、歴史に残すプロジェクトチーム初会合 9 月 会の名称を正式に決定し、事業の実施体制、予算等について検討 平成 28 年 11 月 思い出の校歌演奏会開催 平成 29 年 2 月 思い出の校歌演奏会 CD 貸出し開始
------	--

### ③入東谷活性化プロジェクト

代表者	諸橋 昇一
構成員数	5 人
設立時期	平成 29 年 1 月
活動テーマ	地域資源を活用した入東谷地区の活性化
団体発足の経緯と活動内容	過疎化と高齢化が進む入東谷地域において、集落間で連携した事業を行うことによって地域全体を活性化しようと、入東谷区長会が中心となって結成した。地域資源を発掘し、それを観光資源へとブラッシュアップすることで、交流人口の拡大につなげることを目指す。
活動履歴	平成 28 年 10 月 具体的事業内容について検討 平成 29 年 2 月 事業実施体制について検討

### ④一般社団法人 栃尾青年会議所

代表者	目黒 保明
構成員数	21 人
設立時期	昭和 43 年 10 月
活動テーマ	勇往邁進 ～恐れずに立ち向かえ～ (2017 年度スローガン)
団体発足の経緯と活動内容	青年経済人の社会活動を目的とする社団法人。栃尾地域を中心に、「修練・奉仕・友情」を 3 信条とし、明るく豊かな社会の実現のため、まちづくり・ひとづくりを目指して様々な活動を行っている。
活動履歴	※過去に実施したふるさと創生基金事業 平成 24 年度 里山ミュージックフェス 2012 事業 (トチロック) 平成 25 年度 仲間と学ぼう・夏合宿支援事業 (→中止) 平成 26 年度 婚活事業 (とちコン 2014) 平成 27 年度 長岡市合併 10 周年記念栃尾 JC 旗争奪学童野球大会事業 婚活事業 (とちコン 2015) 平成 28 年度 婚活事業 (とちコン 2016)

### ⑤まちなかキャンパス長岡栃尾分校実行委員会

代表者	大崎 勉
構成員数	14 人
設立時期	平成 27 年 11 月
活動テーマ	地域住民がいきいきと学び、出会い、新しい交流の輪を広げることができるよう、栃尾地域住民及び近隣住民に生涯学習と交流の場等を提供する。
団体発足の経緯と活動内容	市民のための“学びと交流の拠点”であるまちなキャンパス長岡の講座を、栃尾地域でも受講できる環境を整備しようと栃尾分校設置準備委員会を設置して準備を進め、平成 27 年 8 月に分校設立申込書を提出して承認された。平成 27 年 11 月 14 日に栃尾分校開校記念式典を行い、それ以降 1～2 カ月に 1 回のペースで様々なテーマの講座を実施している。
活動履歴	平成 27 年 11 月 開校記念式典及び記念講演会「外山脩造の活動とその周辺」 平成 27 年 12 月～ 講座実施（テーマ：「野菜の話、長岡野菜の話」、「ロマン輝く“宇宙”のお話」、「宗教と経済の以外な関係」、「南極から見える“地球環境と人”」、「しぼり染め体験教室」、「コーヒー特別講座」、「私の恋した雲蝶さま」）

### ⑥栃尾地域活性化委員会

代表者	大竹 幸輔
構成員数	4 人
設立時期	平成 28 年 4 月
活動テーマ	栃尾の地域資源の見直しと発信
団体発足の経緯と活動内容	平成 26 年度から栃尾商工会が中心となって進めている地域資源の発掘とそれを活用した事業化に向けての活動を引き継ぎ、観光事業の振興を目的に平成 28 年に発足。秋葉神社を中心としたイベントの企画立案及び実施、観光グッズなどの商品開発を主な活動としている。 平成 29 年度からは栃尾商工会から離れ、任意団体として活動を継続していくこととなった。
活動履歴	平成 27 年度 秋葉百八風鈴灯及び修行道 35 km 平成 28 年度 秋葉百八風鈴灯及び修行道 48 km

⑦とち<sup>ラボ</sup>Lab.

代表者	今井 善章
構成員数	10 人
設立時期	平成 26 年 12 月
活動テーマ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 栃尾の情報発信</li> <li>・ 空き家の利活用</li> </ul>
団体発足の経緯と活動内容	<p>地域活性化ネットワークが平成 26 年 11 月から 2 月まで毎月 1 回開催した「地域づくり楽習会」の受講者有志が、楽習会で学んだことを活かした活動を実践していくために結成した団体。建築士やデザイナーなどもメンバーとなっている。平成 27 年度には各種イベントを実施したほか、まち場に拠点となる空き家を借りた。</p>
活動履歴	<p>平成 27 年 2 月 2 回にわたり発起人会を開催し、目標設定</p> <p>3 月 発起人会を開催し、具体的事業について検討</p> <p>11 月 ウェブページ開設 【ふる創】</p> <p>平成 28 年 4 月～ 情報誌「トチアエル」発行</p> <p>9 月 とちお夜のランプ祭り開催</p>

平成 29 年度 栃尾地域ふるさと創生基金事業 予算書

[収 入]

(単位：円)

項 目	予算額	説 明
長岡市負担金	3,710,000	
合 計	3,710,000	

[支 出]

(単位：円)

項 目	予算額	説 明
子どもの健康づくり推進事業	470,000	報償費、印刷製本費
栃尾地域の中学校校歌保存事業	400,000	助成金
地域の宝ブラッシュアップ事業	400,000	助成金
婚活支援事業	500,000	助成金
地域と若者との交流促進事業	200,000	委託料
栃尾の未来育成事業	350,000	助成金
秋葉神社を中心とした観光事業	750,000	助成金
映像、イベントを通じた栃尾の魅力発信事業	500,000	助成金
実行委員会運営費	140,000	委員謝金、消耗品費等
合 計	3,710,000	